



お元気ですか!

志村 たかよし です

社会保険労務士会 議員懇談会

中央区の指定管理業者への「労働条件調査」について報告



中央・文京・台東の社会保険労務士の方たち

2月5日、東京都社会保険労務士会中央統轄支部と同政治連盟会は、茗溪会館で「議員懇談会」を開催し、中央・文京・台東の区議や都議が出席しました。

日本共産党中央区議団からは、私が出席しました。

社労士会会員からは「小学校における社会保障教育を実践して」と「労働条件審査に携わって」をテーマとした発表があり、その後、議員との意見交換が行われました。

私は、昨年11月の本会議で、中

央区長が、指定管理業者への労働条件審査について「社会保険労務士会などと相談しながらその活用も含め検討していく」と答弁したことなどを報告しました。

私の発言を受け、中央区の会員

指定管理業者への「労働条件審査」について

社会保険労務士会が、自治体の委託を受けてとりくんでいる「労働条件審査」の主な対象は、指定管理業者です。

日本共産党中央区議団は、指定管理業者で働く従業員の労働環境が悪ければ、事故を起すことたり、区民サービスに影響が出ることもや官製ワーキングプアを生み出すと指摘し、社会保険労務士会などの専門家の協力を得て調査をするよう、繰り返し区に提案してききましたが、昨年の第4回定例会での奥村あきこ議員の質問に対して、区長は次のように答えました。

「これまで指定管理者の選定や運営状況を評価する際に、雇用形態などの労働条件等について

から「1月28日に区と協議し、次の協議の時、私たちの方から進め方を提案することになった」との発言があり、会場に「へくつ」と、明るい驚きの声流れました。

て調査を行ってまいりました。これら労働環境に関する調査をより充実させ、効果的かつ効率的に実施するため、労働問題の専門家である社会保険労務士会などと相談しながらその活用も含め検討してまいります」

★指定管理業者は、保育所や区民館、敬老館、社会教育会館などの区施設の管理運営をおこなう企業・団体です。

全国の自治体で広がっていますが、非正規社員が多く、労働環境も良くつかめていません。全国では従業員の過失などによる事故も起きています。しかし、自治体による細かいチェックができていないのが現状です。

第17回中央区雪まつり



2月9日と10日にかけて、第17回「中央区雪まつり」があかつき公園で開催され、たくさん親子連れの方たちで賑わいました。

会場の雪は、友好都市の山形県東根市から届けられたもので、子どもたちは、スキーやソリにチャレンジしたり、雪だるまを作ったり、雪を投げ合ったりと楽しんでいました。

今年も、子どもといっしょに楽しんでいるお父さんの姿が多くありました。

ひとりでもすべれるよ！



お父さんといっしょだから安心！



エ〜っと スキーの付け方は…



きやあー！



ワァ〜イ！



ソリに乗っていると らくちん、らくちん。



お父さんの方が楽しんでるのかな。

「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(03-6366-6906)